

特集

《花と緑のふれあいガーデン開園式》



コスモスとヒマワリの花が咲き乱れる「ふれあいガーデン」の開園式が、去る6月1日(土)、午前10時から同ガーデンで行われました。同ガーデンの開設に貢献された多数の関係者をご招待して、当自治会会員とともに開園を祝っていただきました。テントに設えられた100席は埋まり、盛況のうちに終了しました。ベートーベンの田園交響曲の流れる中、蝶々の群れ飛ぶ花園を眺めつつ、ご来賓の中から、松本哲治・浦添市長、下地節於・浦添市総務部長、照屋寛孝・沖縄県緑化推進委員会理事長、赤嶺 光・琉球大学農学部准教授の4氏にご挨拶を頂戴いたしました。以下に、その要旨をご紹介します(文責は自治会)。

また、2班の山里文様からは、式典終了後、感動のメッセージが届けられました。併せてご覧ください。

特記事項として、同ガーデン開設に際し、**公益社団法人沖縄県緑化推進委員会「緑の募金」公募事業の補助金**を頂きました。深く感謝申し上げます。

また、**次の方々から無償の労働奉仕を頂きました。**衷心より厚く御礼を申し上げます。

○株式会社沖永開発

代表取締役社長 安里邦夫様
(ユンボでの最初の開墾作業)

○浦添水道サービスセンター

佐久田長英様(散水設備工事)

○JA おきなわ統括部次長 佐久田朝教様(トラクター整地作業)

○廣組 現場代理人 大濱 修様(ユンボでの周辺整理)

○当自治会会員(7班) 神里昭夫様(毎朝夕の散水作業)

○当自治会会員(2班) 国仲昌則様(園地環境整備作業)

なお、開園式以後、**新聞、テレビ、ラジオなど7社の取材・報道がありました。**OCN、沖縄タイムス、琉球新報、NHK 沖縄放送局、沖縄テレビ、ラジオ沖縄、タイムス住宅新聞の7社



都市空間利活用の先駆的モデルとなれ

浦添市長・松本哲治氏



今回の取り組みは、仮称前田公園の本格的な整備が始まるまでの5年間程度を目途に、公園用地の一部を活用しながら、少子高齢化社会における新たな地域の再発見と価値を見出し、地域コミュニティ醸成につながる実証実験の場として活用されていくと伺っております。また、今日の開園式までには、行政の既成概念にとらわれない主体的な協力と、園芸福祉の普及に努めている大学の関係者、造園技能士、JA おきなわ及び地域の企業の皆様方の深いご理解と大きなご協力があったとも伺っています。加えて、浦添工業高校の生徒さんによる看板デザイン作成なども、地域の人材を活かした新しい形のまちづくりを考えていく上で、大きな示唆を与えてくれます。

グリーンハイツ自治会は、これまでも松本会長を先頭に「まちづくり委員会」や「寺子屋」など、ユニークなまちづくり・人づくりを実践していますが、これから貴自治会の「まちづくりは古里づくり」の理念のもと、「心豊かで潤いと元気のあるまちづくり」に一丸となって取り組んでいただき、新しい都市空間の利活用の先駆的かつ斬新的なモデルとなることを期待しています。

まちづくり・自治のモデルとなれ

浦添市総務部長・下地節於氏



自治会の活性化による地域力の再生が今日的課題となってきています。そうした中、「花と緑のふれあいガーデン」が、自治会員のみなならず、多くの市民の期待を集めて「地域の庭」としてオープンしたことは、新しい自治のあり方を模索する社会実験の場としても誠に意義深いものであります。このふれあいガーデンによって、地域の人々の時間、空間、情報の共有化が図られ、地域への愛着心とプライドが創出されていくものと思います。

地域の企業や身近な学校の協力を得た今回の取り組みが、点から線へ、線から面へと展開していき、今後の地域づくりの核となり、自治のモデルとなることを大いに期待しています。

花と緑の憩いの場の継承を

沖縄県緑化推進委員会理事長・照屋寛孝氏



松本淳自治会長を中心に練り上げた戦略的発想とリーダーシップの下、会員の皆様がそれぞれの得意分野の技量を提供されて、地域の景観づくり、憩いと交流の場づくりに取り組まれたことは、まさに他のお手本となるものです。

私ども沖縄県緑化推進委員会にとっても、公益法人移行後の初めての「緑の募金公募事業」として支援することができたことを喜んでいきます。

このふれあいガーデンが、四季折々の花と緑に彩られた憩いの場として継承されていくことを祈念します。なお、沖縄の名木・フクギを記念にお持ちしましたので、適当な場所に植えてください。

園芸福祉の思想でまちづくりを

琉球大学農学部准教授・赤嶺 光氏



以前、グリーンハイツ自治会のまちづくり委員会で、「園芸福祉」のお話をしたとき、貴自治会がまちづくりに熱心に取り組んでおられる様子に大変感心させられました。2度目に伺ったときには、ドイツの「クラインガルテン」のビデオを紹介させていただきました。「クラインガルテン」とは、「小さな庭」と和訳できますが、200年も続く「貸し庭」制度のことで、元々は都市の子どもたちの健康維持のために推進されてきた制度です。今では、市民の健康づくりはもちろん、憩いの場、ふれあいの場、癒しの空間となって、ドイツ市民に親しまれています「園芸福祉」というのは、花や緑との関わりを通して、健康づくり、仲間づくり、生き甲斐づくりをして、皆で幸せになろうという活動です。ふれあいガーデンは、まさにこの理念にかなったものです。私も喜んで協力させていただきます。素敵なガーデンづくりを楽しんでください。

素晴らしいガーデンをありがとう

山里 文さま（2班）

「花と緑のふれあいガーデン」に足を踏み入れたとたん、わーっ、きれいなこと！思わず叫んでしまいましたよ。きれいに咲いた花々が誇らしげに微笑を浮かべて、私たちが来てくれるのを待ち望んでいるように思えました。このような素晴らしいガーデンになっているとは全く想像していませんでした。荒れ放題のジャングルみたいな草原を、よくこのような立派な花園に変えてくださったものと、感心もするし、本当に頭の下がる思いがします。

会員の方々も会長のまちづくりの熱意に動かされ、一致団結して取り組んだ甲斐があって、このような見応えのあるガーデンが出来上がったんだなあと思いました。苦労は大きかったでしょうが、きっと良い思い出になりますよ。これから大勢の人にガーデンを見学してほしいですね。



まちづくり委員会「第13回まちづくりプラン賞」を受賞！

～市の助成金でまちづくりを推進～

『第13回浦添市まちづくりプラン賞』（平成25年度）に、当自治会のまちづくり計画書を提出し、応募したところ、去る6月29日の公開審査を経て、744,000円の助成金が決定しました。

計画の内容は、大まかに申しますと、グリーンハイツ大通り西口（ファミマ側）に、グリーンハイツのシンボル（象徴）あるいはメルクマール（標識）となるような構造物を設置することです。それによって、地域の人たちが自らのアイデンティティを自覚し、この地域を愛し、地域に誇りを持つとともに、外来者や通過者にも当地域の所在がすぐ分かるようにするのが目的です。

具体的な計画は、これから市当局とも協議をしながら詰めていきますが、当自治会のまちづくり委員会が活躍する時がまたやって来ます。

寺子屋委員会 創設2周年が過ぎた寺子屋活動

6月の寺子屋（地域学習支援活動）は、8回実施されました。公民館に来て学習した子どもの数は、35人、延べ94人でした。寺子屋は開設して、ちょうど満2年になります。

この1年間（2012.7～2013.6）の統計を取ったところ、公民館で学習した対象児童（小学生）は311人、延べ利用回数782回でした。昨年は、台風襲来やその他の理由で学習日が少なかったこともあって、利用回数が少なめになったと思われます。（昨年は、300人、延べ909人）

向上会 沖縄戦記録映画を公開上映 ～慰霊の月に平和を考える～

グリーンハイツ向上会は、これまでの「おじさん会」を名称替えて、従来通りの活動を続けていますが、今回は、慰霊の月にあたり、「戦争と平和を考える」趣旨で、6月29日（土）午後7時から、「米従軍記者による沖縄戦記録映画」を上映しました。参加者数は、小学生も含め50人ほどもあり、関心の高さが伺えました。「沖縄の悲惨な戦争体験とその教訓を後世に伝えるためにも毎年実施してほしい」という熱い要望が参加者から寄せられました。上映後は、女性の参加者も交えて20数名で懇親会を持ち、楽しいひと時を過ごしました。次回は、8月31日（土）に、「ふれあいガーデン・バーベキューの夕べ」などを検討しています。（向上会会長 与那嶺光圀）



教育懇談会

前田小・浦添中校区の保護者の皆さんへ

～「地域教育懇談会」へのご案内～

学校・家庭・地域が連携して、児童生徒を健全に育てていくため、下記により、浦添中校区の地域教育懇談会が開催されます。沖縄の未来を築いていく子どもたちが心身ともに健やかに育つことは、親・教師をはじめ、皆の願いです。

この催しは、浦添中学校、前田小学校、前田幼稚園の先生方が来られて、子どもたちの学習や行動の状況などをお話くださるほか、自治会からも種々のご意見・ご要望を申し上げる良い機会です。お子さんをお持ちのご家庭はもとより、若竹会、婦人会の皆さん方のご参加をお待ちしています。

夏休みラジオ体操のお知らせ

児童生徒は、来る20日から夏休みに入ります。夏休みを有意義に過ごしていただくため、今年も恒例のラジオ体操を行います。大人の方もこぞって参加され、お子さんやお孫さんと一緒にお楽しみください。公民館広場に午前6時15分集合です。

ちなみに、昨年は、幼児・児童・生徒・大人の参加数は、総計で延べ

2,403人でした。（うち、大人は

延べ430人） 今年も、昨年以上に

良い計画を立てて取り組む考えですので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



夏休み夜間巡回指導の実施について

地域の青少年健全育成の一環として、夏休み期間中、町内の夜間巡回を実施しますので、自治会通信7月号と一緒に配られる「夏休み夜間巡回指導実施要項・巡回当番表」をご覧ください。ご協力くださるようお願いいたします。

ふれあいサロン

紙づくりの工場を見学しました

～楽しかった社会見学～

去る6月18日（火）、「ふれあいサロン」は、社会見学をしました。参加者は26名。行く先は、読谷山花織工房、道の駅かでな、うるま市の昭和製紙など。特に興味を引いたのは、昭和製紙工場でした。衛生用紙製造業として主にトイレットペーパーを造っています。県内のシェア40%を占めているとのこと。若竹会の社会見学は、楽しみながら世の中のいろいろな事を知るよい機会になり、とても有意義です。若竹会へのご入会をお待ちしています。

（若竹会副会長・上地徳一）



◇ 7月 自治会活動予定 ◇

6日（土）定例班長会 20:00

11日（木）地域教育懇談会（小中合同）19:00

20日（土）拡大役員会 20:00

♪ ふれあいサロンのお知らせ ♪

『室内レク』 18日（木）午後2:00～